

がん検診の精度管理の実施に伴う
検診機関等の集団検診事業評価

令和4年3月

岩手県保健福祉部

岩手県生活習慣病健診等管理指導協議会

【現状】

1 精検受診率について（令和元年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 予防医学協会の精検受診率は 80.0%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の精検受診率は 89.8%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 予防医学協会の精検受診率は 91.4%で、目標値（90.0%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の精検受診率は 94.6%で、目標値（90.0%以上）に達している。
- ・ 奥州市医師会の精検受診率は 89.8%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 予防医学協会の精検受診率は 81.0%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の精検受診率は 86.0%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達している。
- ・ 沼宮内地域診療センターの精検受診率は 68.2%で、目標値（90.0%以上）及び許容値（70.0%以上）に達していない。

（4）乳がん検診

- ・ 予防医学協会の精検受診率は 92.5%で、目標値（90.0%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の精検受診率は 96.2%で、目標値（90.0%以上）に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 予防医学協会の精検受診率は 96.9%で、目標値（90.0%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の精検受診率は 92.2%で、目標値（90.0%以上）に達している。

2 要精検率について（令和元年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 予防医学協会の要精検率は9.1%で、許容値（11.0%以下）に達している。
- ・ 対がん協会の要精検率は4.9%で、許容値（11.0%以下）に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 予防医学協会の要精検率は2.0%で、許容値（3.0%以下）に達している。
- ・ 対がん協会の要精検率は1.1%で、許容値（3.0%以下）に達している。
- ・ 奥州市医師会の要精検率は4.8%で、許容値（3.0%以下）に達していない。

（3）大腸がん検診

- ・ 予防医学協会の要精検率は6.0%で、許容値（7.0%以下）に達している。
- ・ 対がん協会の要精検率は5.6%で、許容値（7.0%以下）に達している。
- ・ 沼宮内地域診療センターの要精検率は7.3%で、許容値（7.0%以下）に達していない。

（4）乳がん検診

- ・ 予防医学協会の要精検率は1.4%で、許容値（11.0%以下）に達している。
- ・ 対がん協会の要精検率は1.5%で、許容値（11.0%以下）に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 予防医学協会の要精検率は1.3%で、許容値（1.4%以下）に達している。
- ・ 対がん協会の要精検率は1.7%で、許容値（1.4%以下）に達していない。

3 がん発見率について（令和元年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 予防医学協会では、がんは発見されなかった。
- ・ 対がん協会のがん発見率は0.15%で、許容値（0.11%以上）に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 予防医学協会のがん発見率は0.08%で、許容値（0.03%以上）に達している。
- ・ 対がん協会のがん発見率は0.07%で、許容値（0.03%以上）に達している。
- ・ 奥州市医師会のがん発見率は0.09%で、許容値（0.03%以上）に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 予防医学協会のがん発見率は0.20%で、許容値（0.13%以上）に達している。
- ・ 対がん協会のがん発見率は0.28%で、許容値（0.13%以上）に達している。
- ・ 沼宮内地域診療センターのがん発見率は0.21%で、許容値（0.13%以上）に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 予防医学協会のがん発見率は0.15%で、許容値（0.23%以上）に達していない。
- ・ 対がん協会のがん発見率は0.27%で、許容値（0.23%以上）に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 予防医学協会ではがんは発見されなかった。
- ・ 対がん協会のがん発見率は0.01%で、許容値（0.05%以上）に達していない。

4 陽性反応の集中度について（令和元年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 予防医学協会では、がんは発見されなかった。
- ・ 対がん協会の陽性反応の集中度は 3.0%で、許容値（1.0%以上）に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 予防医学協会の陽性反応の集中度は 3.8%で、許容値（1.3%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の陽性反応の集中度は 6.8%で、許容値（1.3%以上）に達している。
- ・ 奥州市医師会の陽性反応の集中度は 1.9%で、許容値（1.3%以上）に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 予防医学協会の陽性反応の集中度は 3.4%で、許容値（1.9%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の陽性反応の集中度は 4.9%で、許容値（1.9%以上）に達している。
- ・ 沼宮内地域診療センターの陽性反応の集中度は 2.9%で、許容値（1.9%以上）に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 予防医学協会の陽性反応の集中度は 11.3%で、許容値（2.5%以上）に達している。
- ・ 対がん協会の陽性反応の集中度は 17.7%で、許容値（2.5%以上）に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 予防医学協会ではがんは発見されなかった。
- ・ 対がん協会の陽性反応の集中度は 0.5%で、許容値（4.0%以上）に達していない。

5 がん検診事業評価のためのチェックリストの実施状況調査結果（令和3年度実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 全検診機関等において、チェックリスト実施率 100%である。

（2）肺がん検診

- ・ 全検診機関等において、チェックリスト実施率 100%である。

（3）大腸がん検診

- ・ 全検診機関等において、チェックリスト実施率 100%である。

（4）乳がん検診

- ・ 全検診機関等において、チェックリスト実施率 100%である。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 全検診機関等において、チェックリスト実施率 100%である。

【検診機関等の評価】

1 各がん検診共通事項

（1） 精検受診率の向上について

- ・ 精検受診率向上のため、精密検査の受診状況の把握等について市町村との連絡を十分に行い、未受診者及び未把握者の減少に御協力をお願いいたします。

（2） 各がん検診事業評価のためのチェックリストの実施について

- ・ 今後ともチェックリスト実施率 100%となる事業の実施をお願いいたします。